

全酪連会報 3

2024 MAR No.702



酪農とのかけはし/
みやぎの酪農農業協同組合
哺育育成センター 所長
佐藤克憲さん

企画管理部だより/
令和5年度 決算に向けて
令和4年度 会員概況調査より

日本酪農見て歩紀/
西田義博牧場
(鹿児島県肝属郡東串良町)

酪農トピックス/
「知多牛系統飼料(全酪連)枝肉研究会」
開催(名古屋)ほか

作品募集のお知らせ

第51回 全国酪農青年女性酪農発表大会
開催のご案内

LINE公式アカウントができました!
登録をお願いします!



全国酪農業協同組合連合会

酪農との かけはし



第48回 みやぎの酪農農業協同組合
 哺育育成センター 所長
 佐藤克憲さん

将来酪農家のもとで 活躍できる牛を 育成しています

佐藤克憲さん
 みやぎの酪農農業協同組合
 哺育育成センター 所長

宮城県登米市出身
【現在に至る経歴】
 宮城県登米市の畜産農家で生まれる
 2000年 宮城県内の高校で農業科を卒業、
 同年酪農学園大学へ入学
 2004年 酪農学園大学卒業、同年みやぎの
 酪農農業協同組合入組、哺育育成
 センター配属
 2017年 同センター所長に就任、現職に至る

仙台駅から車で約2時間、宮城県
 最北端に位置する気仙沼市は海と
 山に囲まれた自然豊かな地域です。
 日本一の水揚げ量を誇るメカジキ



▲ 佐藤克憲さん

をはじめ、カツオ、サンマ、ホヤな
 ど、日本屈指の港町で、2021年
 度放送のNHK朝ドラ「おかえりモ
 ネ」の主人公が生まれ育ったまちと
 しても有名です。今回取材させてい
 ただきましたみやぎの酪農農業協同
 組合（伊藤一成代表理事組合長）哺
 育育成センターは気仙沼市の本吉町
 地域にあります。今回は当センター
 の所長である佐藤克憲さんにお話を
 伺いました。

哺育育成センターの概要

当センターは2003年9月に開
 設されました。組合に所属する酪農
 生産者から、生後10日齢から分娩約
 2か月前までの牛をお預かりしてい

ます。常時230頭を管理しており、
 集畜地域は宮城県の北部地域が主
 なります。南部地域に比較すると北
 部地域は昔から水田との兼業をして
 いる方や、外部導入による更新が多
 かった地域なので、自家育成のため
 の十分な育成牛舎を持っている生産
 者が少ないという特徴があります。

現職に携わるまで

宮城県登米市で生まれました。実
 家は酪農と和牛繁殖をやっています。
 畜産の道に進むことは元々考えてい
 たので、高校や大学も畜産系を選び、
 農業クラブや共進会に熱心に取り組
 みました。卒業後は一度実家に戻り、
 両親の手伝いをしていましたが、み

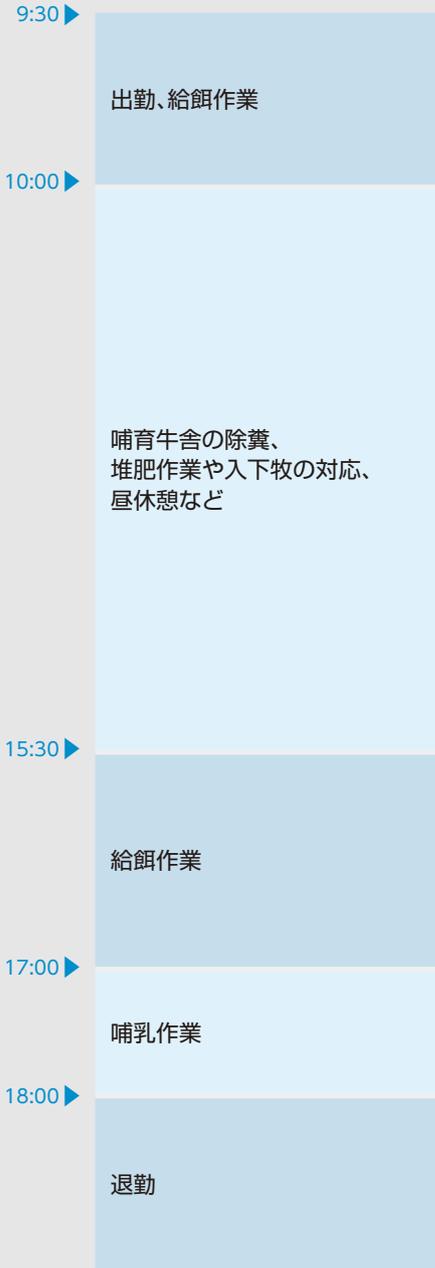
気を付けていること

哺育育成センターでは40戸ほどの
 生産者から集畜していますので、そ



▲ 哺育育成センター外観

佐藤克憲さんの
1日のタイムスケジュール



※遅番の場合。朝の哺乳作業は早番が行う。



▲ 哺育牛舎



▲ 育成牛舎

それぞれ飼養環境が違ふところから来た子牛をここで管理するのは苦労しました。学生時代に牛の見方を教わっているの、常日頃牛をしつかり観察することは徹底しています。加えて4人の職員でマニュアル、引継ぎノート、休憩時間の会話などを通し

て情報共有しながら牛の不調は早期に発見、治療することを意識しています。これまで呼吸器疾患による死亡事故はほぼ起きておらず、この2年ほどは事故なく過ごせています。人工授精や受精卵移植は基本的に私が行っていますが、受胎率や種付

回数などの数字も気を付けており、年々成績を上げていきたいと思っています。現在は受胎率6割、種付け回数1.5回ほどですので、受胎率が7〜8割になるのが理想ですが、どうしても牛にバラつきがあるので上手くないこともあります。牛の良好な発育には最初の管理が一番重要だと感じます。はじめに躓いてしまうと、それが尾を引いて他の個体との差はどうしても出てしまいます。飼養管理が異なる生産者から集畜しているの、センターで個体差が出てしまうのは仕方がないことですが、センターの管理を通してできるだけバラつきが小さくなるように意識しています。定期的な体重測定でバラつきの程度を把握し、どうすれば少なくともできるか、試行錯誤しています。

やりがい

センターで約2年間お預かりして、生産者に返した後にその牛が活躍していることは大きなやりがいです。下牧や種付けの相談をする際に生産者と話す機会がありますが、そのときに「この前返ってきた牛よかったですよ」と言ってもらえることもあります。近年の飼料・生産資材の高騰もあり、少し前に預託料金を値上げさせてもらいましたが、ありがたいことに順番待ちが発生するほど預託依頼があります。料金をいただいて預けてもらっている以上は酪農家に貢献できるような仕事をしたいです。

全国の酪農家に一言!

厳しい酪農情勢が早く回復することを願っています、その時が来るまで一緒に頑張りましょう!



令和5年度

決算に向けて

令和6年3月期決算実務における

税務上の留意点

I 令和5年度税制改正の概要

令和5年度税制改正のうち、当年度決算に影響を及ぼすとみられる主要項目を、昨年同様リストアップ形式で改正ポイントのみ一覧掲載していますので、これにより改正内容の概要把握と再確認を行ってください。

改正項目1 中小企業者等の法人税率の特例の延長

〔チェックポイント〕

中小企業者等（協同組合等も含まれます。また適用除外事業者がありません。）の平成24年4月1日から令和5年3月31日までの間に開始する各事業年度の所得の金額のうち年800万円以下の所得金額について法人税の軽減税率を15%（本則税率・19%）とする制度の適用期限が令和7年3月31日まで2年延長されました。

本年も3月となり、当年度の経営活動の総括たる決算期を迎えようとしています。そこで、本3月号では、当年度決算実施に当たっての税務上の留意事項の解説を中心とした「令和5年度決算に向けて」をお届けします。

なお、本稿では、令和6年3月期決算組合を前提としていますので、当該期以外の決算期となる会員の皆さまはご留意ください。また、紙面の都合上、該当法令名及び適用条項についての記載を割愛していますので予めご了承ください。

対象	本則税率				軽減税率
	年800万円超の所得金額	年800万円以下の所得金額	適用除外事業者	下記以外の法人	
普通法人 （資本金1億円以下の法人）	23・20%	19・00%	19・00%	19・00%	15・00%
協同組合等※		19・00%	19・00%	19・00%	15・00%

※協同組合等で、その事業年度における物品供給事業のうち店舗において行われるものに係る収入金額の年平均額が1,000億円以上であるなどの一定の要件を満たすものの年10億円超の部分については、22%の税率が適用されます。

【適用時期等】

本税率の適用期限は、令和7年3月31日までの間に開始する事業年度まで延長されましたので、当年度についても適用対象となります。

改正項目2

中小企業投資促進税制等の延長

【チェックポイント】

平成10年6月1日から令和5年3月31日までの期間（以下「指定期間」といいます。）内に、中小企業者等（協同組合等も含まれます。また適用除外事業者があります。）が機械等を取得した場合の特別償却又は法人税額の特別控除制度の適用期限が、令和7年3月31日まで2年延長されました。

【適用時期等】

本制度は、令和7年3月31日までに取得等をして事業の用に供した場合に適用されます。

II その他の留意事項

◆前年度以前改正において令和5年度適用となる項目等

【チェックポイント】

中小企業等の貸倒引当金制度にかかる協同組合等の割増率の適用に関する特例が廃止され、その経過措置として前年度までは割増率が適用することができましたが、当該措置は令和5年4月1日以後開始する事業年度に

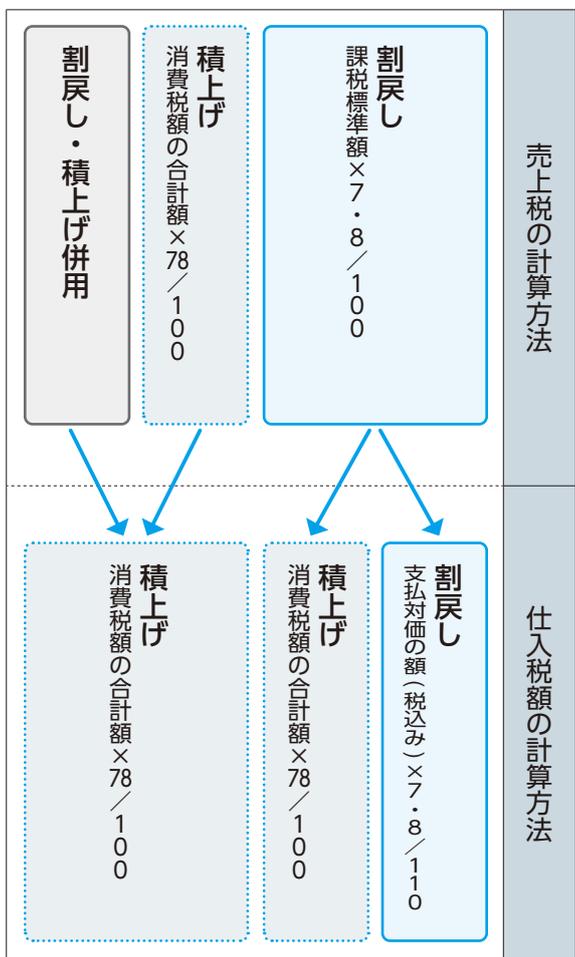
は制度廃止となっています。

昨年3月発行の本誌（No.690）においても詳しく掲載しましたが、令和5年10月1日以後に支払いを受けるべき配当等から、完全子法人株式等（株式等保有割合100%）及び関連法人株式等（株式等直接保有割合30%超100%未満）に該当する株式等に係る配当等については、所得税の源泉徴収を行わないこととされました。

従って、これに当てはまる配当等については、法人税申告時での所得税額控除の対象にはなりません。

◆インボイス制度に対応した消費税申告書の計算と記載方法

【チェックポイント】



※適用税率10%（消費税率7.8%、地方消費税率2.2%）のみの場合としています。

インボイス制度が開始されてから半年ほど経過しましたが、令和5年11月に国税庁のサイトに掲載の「消費税及び地方消費税の申告書・添付書類等」

が更新され、インボイス制度に対応した消費税申告書の計算・記載方法が公表されています。

インボイス制度導入後の税額計算の組合せの概略は次のようになります。売上税額の計算方法を積上げ計算とした場合は、仕入税額の計算方法は積上げ計算の適用しか認められません。また、売上税額の計算方法を割戻し計算とした場合は、仕入税額の計算方法は積上げ計算か割戻し計算かいずれかを選択できます。但し、売上税額の計算方法を積上げ計算と割戻し計算を併用した場合も、仕入税額の計算方法は積上げ計算の適用しか認められません。

添付書類の記載方法の変更として、適格請求書等保存方式開始から一定期間は、適格請求書発行事業者以外の者からの課税仕入れであっても、仕入税額相当額の一定割合を仕入税額とみなして控除できる経過措置が設けられたことにより、次の申告書の付表に項目が追加されています。

【経過措置】

期 間	控 除 割 合
令和5年10月1日から令和8年9月30日	仕入税額相当額の80%
令和8年10月1日から令和11年9月30日	仕入税額相当額の50%

【申告書の付表2-1、2-2、2-3の項目⑪、項目⑫】

適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る経過措置の適用を受ける課税仕入れに係る支払対価の額（税込み）	⑪	⑫
適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れに係る経過措置により課税仕入れに係る消費税額とみなされる額	当該支払対価の額、 課税仕入れに係る対価の 返還等の金額	$A \cdot \textcircled{11} \times (6.24 / 108) \times (80 / 100)$ $B \cdot \textcircled{11} \times (7.8 / 110) \times (80 / 100)$

※付表2-3は、標準税率7.8%又は軽減税率6.24%が適用された取引のみの場合使用。

旧税率(3%、4%、6.3%)が適用された取引がある場合は、付表2-1及び2-2を使用。
※記載の表は割戻し計算の場合の付表2-3の例です。

◆令和6年度税制改正について

昨年12月22日に「令和6年度税制改正の大綱」が閣議決定されました。今後、現在開催中の第213回通常国会に上程され、年度末である3月31日までに「令和6年度税制改正法案」が成立する可能性が高く、当該「令和6年度税制改正の大綱」の内容の今後の動向を注視ください。

以上、令和5年度決算に当たり留意を要する主だった税制改正項目につき、重点項目のみを中心に抽出し概説いたしました。紙面の都合上、チェックポイントのみの概要紹介となりましたので、各改正事項等の詳細、また本紙面に掲載されていない改正項目については、関与税理士等に個別にご確認ください。

本稿が会員の皆さまの令和5年度決算手続き実施に当たり、多少なりともお役に立てばと願っております。

※参照・参考文献：「週刊 税務通信」（税務研究会刊）

及び資料：国税庁ホームページ・令和5年度税制改正関連資料

国税庁ホームページ・消費税及び地方消費税の申告書・添付書類等
財務省ホームページ・令和5年度税制改正の大綱関連資料



会員概況調査より

本会では、会員における組織・事業の概要を把握することにより、事業運営における問題点を明確にし、その改善を図り体質強化に資することを目的として、毎年会員概況調査を実施しています。

この度、昨年中に会員の皆様にご依頼した令和4年度を対象とした会員概況調査の結果がまとまりましたので、その内容を報告いたします。

1 全国の酪農概況(農林水産省 畜産統計調査、牛乳乳製品の生産動向より)

解説

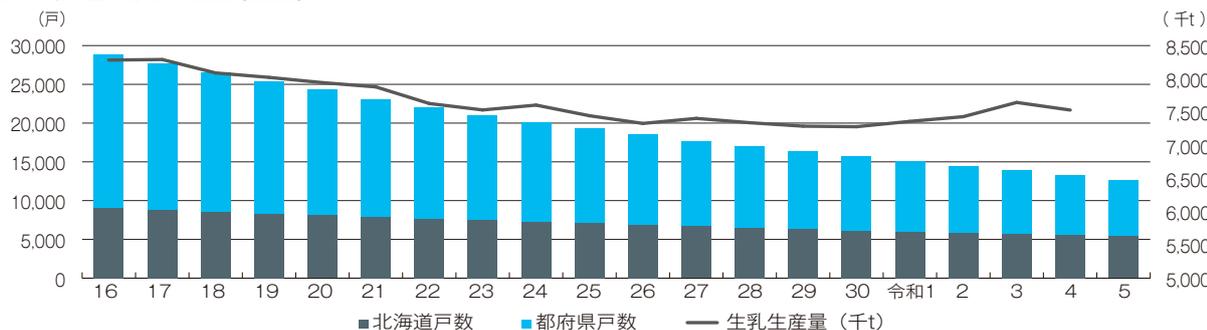
農林水産省の畜産統計調査によると、令和5年2月1日現在の全国の酪農家戸数は12,600戸、前年同月と比べて95%となりました。毎年のように4~5%前後で減少していますが、資材価格高騰などの影響で、令和4年度の生乳出荷戸数は、7~8%の減少との見方もあります。

一方、経産牛頭数は837千頭、前年同月比で97%

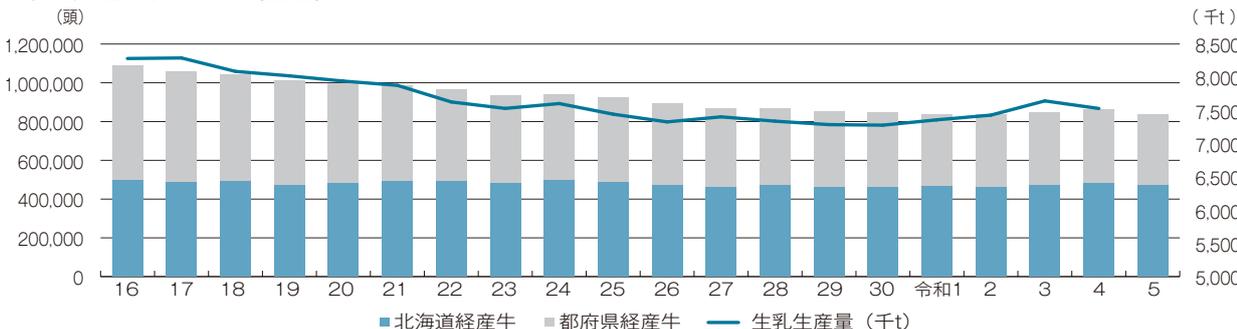
となりました。ここ数年頭数を維持していた北海道は98%、都府県においては96%となりました。コロナ禍での生産抑制が表れていると思われます。

生乳生産量(農林水産省牛乳乳製品の生産動向)は需給の逼迫、緩和を繰り返しながらここ数年は前年生産量を上回り、令和3年度は10年ぶりに760万tを超えたものの、令和4年度は753万tと前年比98.5%となりました。

酪農家戸数と生乳生産量(全国)

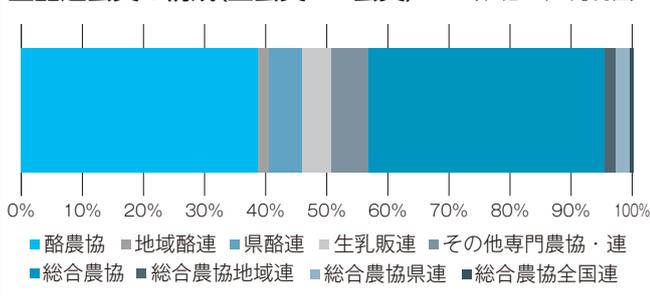


経産牛頭数と生乳生産量(全国)



2 本会の会員構成割合

全酪連会員の構成(正会員168会員) (令和6年1月現在)



解説

令和5年6月に北海道の忠類農業協同組合が本会に加入し、令和5年12月に群馬県酪農業協同組合連合会が本会から脱退しています。これにより、令和6年1月現在で正会員は168、準会員は17となりました。

168の本会正会員のうち、酪農専門の単協、県連・地域連は46%、生乳販連が5%。酪農以外の専門農協(連合会含む)は6%。総合農協(連合会含む)は43%という構成割合です。

3 会員の酪農概況

(1) 生乳出荷戸数（平成29年と比較可能な酪農組合・総合農協82会員）

支所管内別 生乳出荷戸数 (戸)

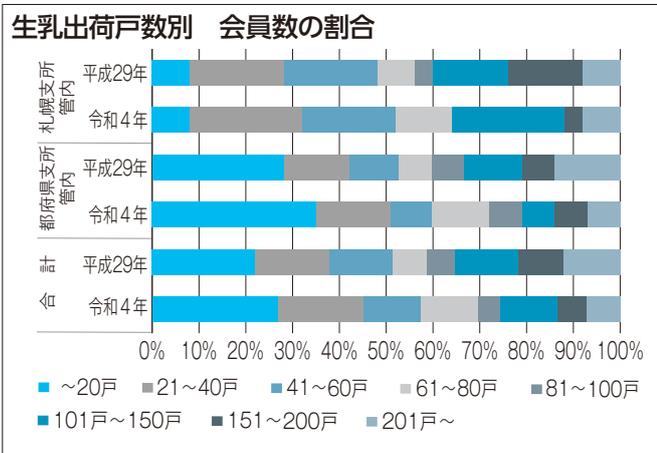
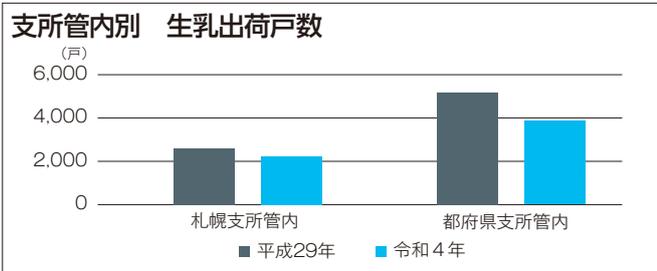
	令和4年	平成29年	平成29年比
札幌支所管内	2,225	2,597	85.7
都府県支所管内	3,864	5,167	74.8
合計	6,089	7,764	78.4

解説 今回も、5年前である平成29年と比較可能な酪農組合・総合農協82会員のデータのみで比較してみます。

生乳出荷戸数は、札幌支所管内は85.7%であったものの、都府県支所管内は74.8%と大きく減少し全体で78.4%となり、畜産統計の酪農家戸数の推移（令和4年/平成29年比81.0%）を若干下回りました。

また、生乳出荷戸数別の会員数は、都府県支所管内の40戸以下の組合は、5年前は24組合でしたが、今回のデータでは29組合となり半数を占めました。101戸を超える組合数は、5年前の19組合に対し、今回は12組合と減少し、201戸を超える組合は半減しています。

札幌支所管内会員においても、21戸～80戸の層が増加し、151戸を超える層が減少していることがわかります。



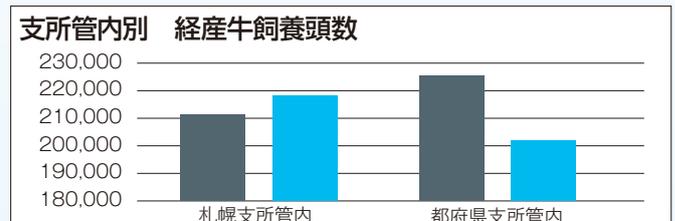
生乳出荷戸数別 会員数の割合

		~20戸	21~40戸	41~60戸	61~80戸	81~100戸	101戸~150戸	151~200戸	201戸~
		札幌支所管内	平成29年	2	5	5	2	1	4
	令和4年	2	6	5	3	0	6	1	2
都府県支所管内	平成29年	16	8	6	4	4	7	4	8
	令和4年	20	9	5	7	4	4	4	4
合計	平成29年	18	13	11	6	5	11	8	10
	令和4年	22	15	10	10	4	10	5	6

(2) 経産牛飼養頭数（平成29年と比較可能な酪農組合・総合農協82会員）

支所管内別 経産牛飼養頭数 (頭)

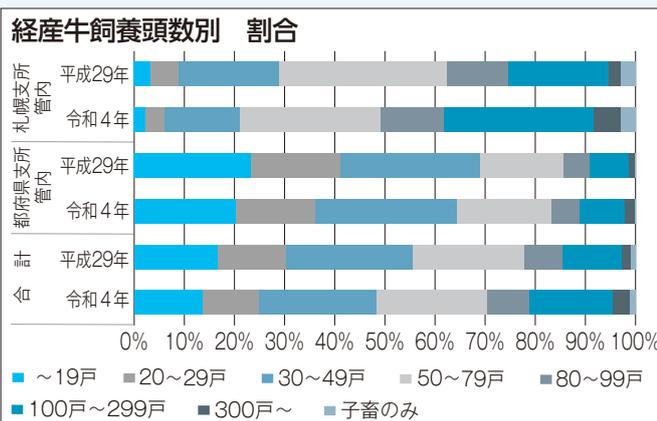
	令和4年	平成29年	平成29年比
札幌支所管内	218,234	211,286	103.3
都府県支所管内	201,787	225,436	89.5
全体	420,021	436,722	96.2



解説 経産牛飼養頭数も、平成29年と比較可能な会員（82組合）のデータで比較してみました。

全体で96.2%となり、畜産統計の全国の経産牛頭数（98.9%）よりも2.7ポイント下回っています。都府県

支所管内会員の減少率（89.5%）においては畜産統計（97.0%）よりも7.5ポイントも下回り、札幌支所管内会員においては103.3%と増頭していますが畜産統計（106.4%）を下回っています。



解説 経産牛飼養頭数別の割合も、平成29年と比較可能な会員（82組合）のデータで比較しています。

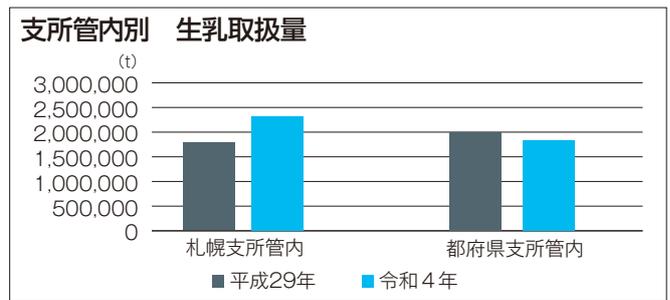
札幌支所管内では100頭以上の階層が伸び79頭以下の階層が減少しています。都府県支所管内では29頭以下の階層が減少し、それに伴い50頭以上の生産者の割合が増えています。

酪農家戸数は、平成29年と比較し81%と減少している中で、数比較的小規模の生産者の廃業が多かったことが要因の一つと考えられますが、戸数で比較しますと、札幌支所管内では100頭以上の階層で、都府県では300頭以上の階層で、それぞれ平成29年より増加しています。クラスター事業等を受け、規模拡大を行ってきたことと思われる。

(3) 生乳取扱量 (平成29年と比較可能な酪農組合・総合農協82組合)

支所管内別 生乳取扱量 (t)

	令和4年	平成29年	平成29年比
札幌支所管内	1,968,996	1,817,512	108.3
都府県支所管内	1,805,875	2,008,306	89.9
合計	3,774,871	3,825,818	98.7



解説

生乳取扱数量も、平成29年と比較可能な会員(82組合)のデータで比較してみました。

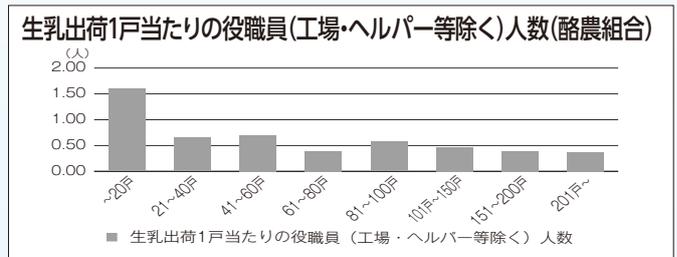
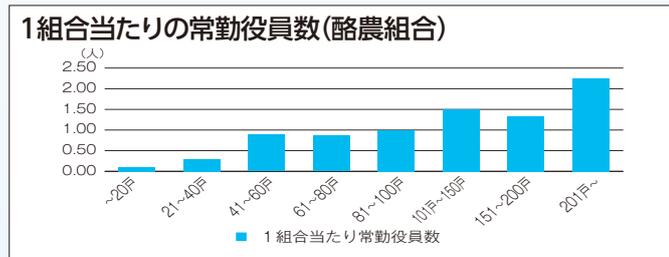
平成29年比で98.7%となり5年前より若干減少しています。牛乳乳製品統計の令和3年/平成28年比が103.3%であることと比べると、4.6ポイントも下回っ

た結果となりました。札幌支所管内会員では108.3%であり、牛乳乳製品統計の北海道の推移(108.4%)と同じレベルですが、都府県支所管内での生乳取扱量は飼養頭数の減少幅と同程度の89.9%との結果が出ています。

4 本会会員(酪農組合・総合農協別)における常勤役員・役職員の状況(有効回答 100会員)

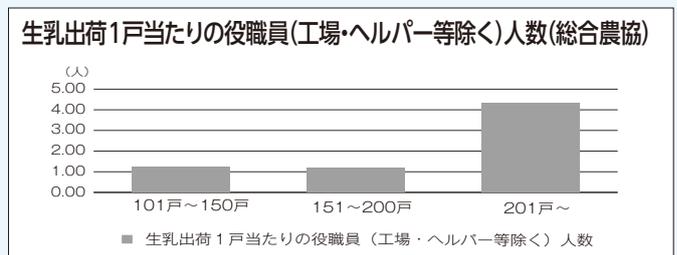
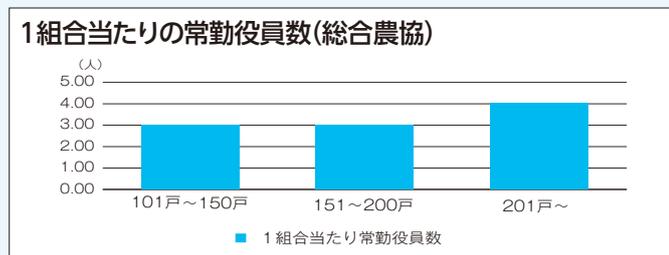
(1) 酪農組合 (有効回答 酪農組合56会員)

正組合員数	集計組合数①	常勤役員がいる組合		1組合当たり常勤役員数	生乳出荷戸数	役職員数(工場・ヘルパー等除く)	生乳出荷1戸当たりの役職員(工場・ヘルパー等除く)人数
		組合数②	比率②/①				
~20戸	10	1	10.0%	0.10	81	130	1.60
21~40戸	10	3	30.0%	0.30	233	152	0.65
41~60戸	9	7	77.8%	0.89	289	202	0.70
61~80戸	7	6	85.7%	0.86	379	146	0.39
81~100戸	2	2	100.0%	1.00	127	73	0.57
101~150戸	8	6	75.0%	1.50	829	390	0.47
151~200戸	6	6	100.0%	1.33	858	337	0.39
201戸~	4	4	100.0%	2.25	762	279	0.37
全体	56	35	62.5%	0.88	3,558	1,709	0.48



(2) 総合農協 (有効回答 単協44会員)

正組合員数	集計組合数①	常勤役員がいる組合		1組合当たり常勤役員数	生乳出荷戸数	役職員数(工場・ヘルパー等除く)	生乳出荷1戸当たりの役職員(工場・ヘルパー等除く)人数
		組合数②	比率②/①				
101~150戸	4	4	100.0%	3.00	198	241	1.22
151~200戸	3	3	100.0%	3.00	202	236	1.17
201戸~	37	36	97.3%	4.05	2,500	10,776	4.31
全体	44	43	97.7%	3.89	2,900	11,253	3.88



解説

役職員の在籍状況を、有効回答を得られた本会会員の酪農組合（56 会員）及び、総合農協（44 会員）で見ってみました。

酪農組合（単協 56 会員）においては、正組合員数が 41 戸以上の階層で常勤役員がいる組合の比率が高くなっていますが、常勤役員を置かない小規模組合が多いことから、1 組合当たりの常勤役員数の平均は 0.88 人となりました。生乳出荷 1 戸当たりの役職員（工場・ヘルパー等除く）の人数は、組合規模が大きくなるにつれ、少なくなる傾向が見られます。

一方、総合農協（単協 44 会員）ではすべてが 101 戸以上の正組合員数を有していることもあり、1 組合当たりの常勤役員数は 3.89 人となり、正組合員数が 201 戸を超える総合農協（単協 36 会員）では 4.05 人でした。生乳出荷 1 戸当たりの役職員（工場・ヘルパー等除く）の人数は、酪農家以外の農業者が多い総合農協では酪農専門農協とは逆の傾向で、組合規模が大きくなるにつれ、多くなる傾向が見られます。

一方、総合農協（単協 44 会員）ではすべてが 101 戸以上の正組合員数を有していることもあり、1 組合当たりの常勤役員数は 3.89 人となり、正組合員数が 201 戸を超える総合農協（単協 36 会員）では 4.05 人でした。生乳出荷 1 戸当たりの役職員（工場・ヘルパー等除く）の人数は、酪農家以外の農業者が多い総合農協では酪農専門農協とは逆の傾向で、組合規模が大きくなるにつれ、多くなる傾向が見られます。

5 会員農協における役員(理事・監事)のうち、女性役員(有効回答 130会員)

酪農組合・総合農協別 女性役員の割合

		集計組合数①	女性役員を置く組合		①の組合の		
			組合数②	比率②/①	役員総数(理事+監事)	女性役員総数	女性役員の占める割合
酪農組合	酪農組合(単協)	57	6	10.5%	561	7	1.2%
	県酪連・地域酪連	11	0	0.0%	130	0	0.0%
	生乳販連	6	0	0.0%	60	0	0.0%
	合計	74	6	8.1%	751	7	0.9%
総合農協	総合農協(単協)	50	23	46.0%	1,116	64	5.7%
	県連・地域連合会	6	1	16.7%	73	1	1.4%
	合計	56	24	42.9%	1,189	65	5.5%

酪農組合(単協)における階層別 女性役員の割合

組合員数	集計組合数①	女性役員を置く組合		①の組合の		
		組合数②	比率②/①	役員総数(理事+監事)	女性役員総数	女性役員の占める割合
～20戸	10	1	10.0%	72	1	1.4%
21～40戸	10	0	0.0%	79	0	0.0%
41～60戸	9	1	11.1%	74	1	1.4%
61～80戸	7	1	14.3%	64	1	1.6%
81～100戸	2	0	0.0%	23	0	0.0%
101～150戸	8	2	25.0%	107	3	2.8%
151～200戸	6	1	16.7%	65	1	1.5%
201戸～	5	0	0.0%	77	0	0.0%
全体	57	6	10.5%	561	7	1.2%

解説

有効回答（130会員）の会員において、女性役員（理事・監事）を置く会員は30会員（23.1%）でしたが、総合農協（単協）においては56会員中24会員（42.9%）で女性役員を置いており、酪農組合（単協）は74会員中6会員（8.1%）にとどまりました。

また、役員総数に占める女性役員の割合は、総合農協（単協）においては5.7%（1,116人中64名）であ

るのに対し、酪農組合（単協）では1.2%（561名中7名）にとどまりました。総合農協においては、連合会組織にも女性役員が1組織1名います。

政府は、男女共同参画を掲げている中、農業界にも女性の進出を進めており、より多く女性の意見も取り入れることが期待されています。

まとめ

（一社）Jミルクから発表された生乳需給予測によると、令和6年度の生乳生産量について、北海道では101.4%、都府県は98.7%、全国では前年横ばいの100.3%との見通しであり、都府県では3年連続の減産、全国・北海道では3年ぶりの増産としている。2歳未満の乳用雌牛は、北海道で約11千頭、都府県で約10千頭減少する見通しであり、搾乳牛となる2歳以上の乳牛雌牛は、北海道で約7千頭、都府県では約13千頭減少すると見通しています。生乳供給量は前年比100.3%と見込み、飲用等向処理量は98.6%

としています。

今回の会員概況調査も令和4年度とその5年前のデータとで比較しましたが、令和5年度が始まるとうしているこのころは、コロナ禍が続く中、飼料価格は高止まり、為替は円安に進み燃料費・資材費などは高騰している頃と重なります。現在、乳製品の在庫は一定の水準に収まり、インバウンドも回復を見せてきた中、牛乳・乳製品の需要拡大が求められているところで、消費者への理解醸成・消費拡大をさらに訴え、関係団体との連携を一層強化していきたいところです。

会員の皆様には、調査にご協力いただき感謝申し上げます。今後とも、会員概況調査に引き続きご協力いただき、一層精度を高めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

見て歩紀

No. 369

西田義博牧場

鹿児島県肝属郡東串良町

素直に育てる、 自分がやるべき酪農

地域の紹介

西田義博牧場がある大隅半島の肝属郡は、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町で構成されています。

また、昭和37（1962）年に東京大学生産技術研究所の付属施設として設置された、世界でも珍しい起伏の多い地勢の山腹を削って造成された台地に科学観測ロケットおよび科学衛星の打ち上げ発射場である内之浦宇宙空間観測所があることで有名です。また、内之浦宇宙空間観測所周辺には叶嶽神社があります。内之浦総合支所裏手の叶岳麓から叶嶽神社までは1,000段もの階段が設置されています。全段を登りきって願掛けをすると願い事が叶うそうです。是非挑戦されてみてはどうでしょうか。そして、頂上まで続く階段の555段目には、内之浦湾や対面の志布志市

や串間市、国見山系や内之浦宇宙空間観測所のパラボラアンテナ等の景観を望める展望ボードウォークや展望所があります。



▲ 叶嶽神社 絶景を眺めながら「叶えの鐘」を鳴らしてみては？

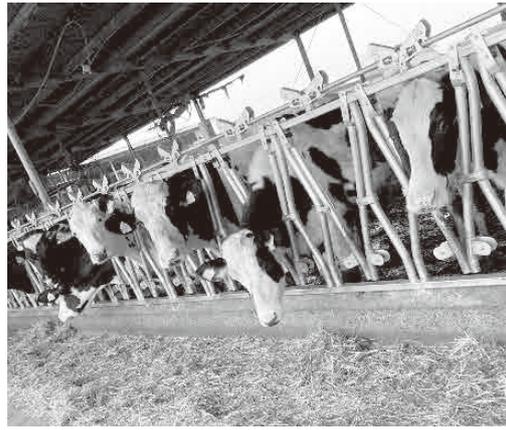
牧場の概要・沿革

① 概要

今回、取材をお願いした西田義博牧場は、鹿児島県酪農協同組合（有村洋平代表理事組合長）の組合員であり、鹿児島県酪農協同組合の出荷戸数は約120戸（令和6年1月末現在）、令和4年度の生乳受託乳量は63,865tとなっています。

▲ 左から 横山美樹さん(ご本人)、西田聖陽さん(甥っ子)

そして、今回取材を受けてくださったのは横山美樹さんです。西田義博さんの義理の息子さんにあたり、現在、鹿児島県酪農青壮年女性会議の副委員長、そして大隅酪農青年女性会議の委員長を務められています。



▲ 見慣れない人に興味津々な牛たち

西田義博牧場は、西田義博さん(義父)、義子さん(義母)、横山美樹さん(ご本人)、さとみさん(奥様)、西田聖陽さん(甥っ子)の合計5名で営農しています。現在の飼養頭数は、経産牛61頭、乾乳牛6頭そして育成牛48頭です。昨年北海道の専門学校で畜産学を専攻していた聖陽さんが就農するため帰ってきたことから、飼養スペースは十分にあるものの、増頭などは考えていなかった気

持ちは一変。聖陽さんの培った畜産の知識と経験を活かし、育成牛の増頭にも力を入れ、かねてより取り組みたかったことを始めます。

② 沿革

西田義博牧場は、義博さんの父の代から続く聖陽さんで5代目の牧場です。当初、義博さんの実の息子さんが後継者として継ぐご予定でしたが、若くしてご逝去されてしまい後継者不在になり、一時は廃業を考えたとの事。しかし、義博さんのご息女であるさとみさんは、幼少期からいつも身近にいた牛たちとその牛舎が無くなる事は耐えられないとお気持ちからご主人の美樹さんと話し合い、畜産業はもとより、牛と関わったことのない世界からお二人で就農を決意し勤め先を離れ酪農家へ転身しました。就農されたときは70頭ほど、お二人は毎日がむしやらに向き



▲ 牛舎内



▲ 牛舎内

合ったそうです。飼養できるか不安があったため牛の導入は行わず、一時は60頭近くで落ち着いていた頭数ですが、聖陽さんが就農され増頭意欲が出てきたそうです。「学校に通って畜産を学んだ経験は無いので、牧場にいる牛を観察し、自分が牛たちにとつたアクションに返ってきた反応を見ながら試行錯誤しています。」と語る美樹さん。

これからの原動力

① 北海道で培った学びと経験が生きる

幼少期の小学生から牛に興味を持っていった聖陽さんは高校から畜産学を学べる環境下に身を置き、卒業後は北海道の畜産の専門学校へ進学。卒業後は一年間、専門学校内の

牧場に就き経験を培い、西田義博牧場へ就農されました。

② 気持ち、方向性、それぞれの変化

牛舎にはまだ飼養可能なスペースが十分ありましたが、労働面や資金面から規模拡大などはされていなかった美樹さん。しかし、聖陽さんが就農を決め牧場の一員となったことから、育成牛を増頭し、大型換気扇導入や自給飼料作付けにも挑戦することを決意されました。

③ 考え、実践



▲ 自給飼料のイタリアン

飼料は、TMRを給与し、牧草はイタリアン、WCS作りに取り組まれています。元々購入していたのもろこしは、今年から試験的にコーンサイレージ作りに取り組むため4町歩に作付けを開始。「地域の酪農家さんたちが協力的で飼料作物作りについて意見交換する会もあるし、皆なんでも教えてくれます。」と周囲への感謝を語る美樹さん。



④ 生活であり趣味

収支を考えることは経営において切っても切り離せない所ですが、聖陽さんは共進会も楽しみの一つ。共進会のために精液を取り始めるなど改良にも意欲的です。

酪農家が牛を出品するという事は、昼夜を問わない日々の仕事の合間にしなくてはいけない事が増えるということ。牛のブラッシング、毛刈り、シャンプー、人間のフアッションモデルのようにウォーキングやポーキングの練習もあります。こだわりが光る世界に美樹さんは驚愕することもあったそうです。

⑤ 互いの得意分野を生かす

お二人には興味のある分野にも違いがあります。美樹さんが熱中するのは、畑や田んぼなど外の仕事、聖陽さんは牛の仕事や共進会といった中の仕事。興味のある分野や情熱を注ぐ場所が違うため、お互いにバランスがとれているとのこと。

例えば、共進会に興味のある聖陽さんは、共進会へ出品したいと思っ



▲ 2023年 品地に出した牛の最優秀賞

「共進会へ出品したい」と思っ

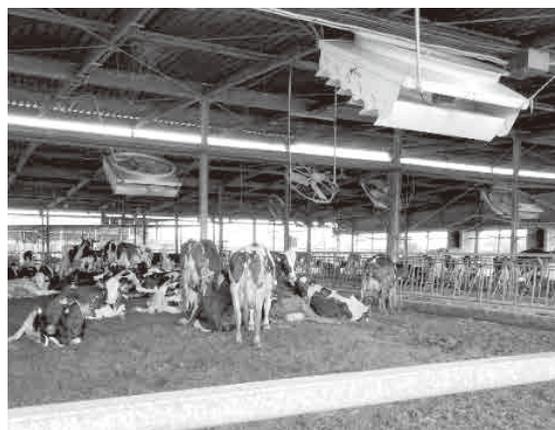
た個体を「この子を共進会に出すぞ」と意気込んだものの、思ったような手ごたえを得られず、共進会出品への迷いが生じて美樹さんへ出品断念を打診。美樹さんは、もう出品申し込みを済ませてしまったことを聖陽さんへ伝えたものの躊躇する聖陽さんの代わりに、美樹さん自ら毛刈りをし、リードマンを務めたこともあったとのこと。結果は振るわなかったようですが、相互に補完しあう関係性を表すエピソードです。

⑥ これから

今までは通気性が悪いために横臥する個体が少なく事故に繋がるケースがあり、美樹さんは思い切って大型換気扇を導入しました。

横臥する個体も増え、通気性が格段に上がったことを実感し、「自分だけでは投資に踏み切れず現状維持が精一杯だった。」と語る美樹さんからは、聖陽さんの就農がきっかけで牛たちへしてあげられることが増えた喜びを感じました。

そして、牛の些細な変化に気づく



▲ 2023年夏に導入した大型換気扇

「牛乳飲んでください。」生産費の高騰で厳しい経営を余儀なくされている酪農家の皆さんが呼びかけている映像が記憶に新しい理解醸成活動ですが、美樹さんの今後の活動目標は「小学校で授業をし

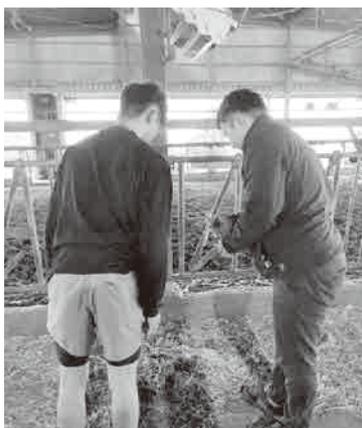
一般消費者への訴求

「牛乳飲んでください。」生産費の高騰で厳しい経営を余儀なくされている酪農家の皆さんが呼びかけている映像が記憶に新しい理解醸成活動ですが、美樹さんの今後の活動目標は「小学校で授業をし

たい」とのこと。

酪農家の仕事の様子や、牛たちの映像を見てもらう、会いに来てもらうなど、視覚や触覚など、五感から入ってくる情報は消費者もイメージしやすいのでは、と思いを巡らせていました。

お話しの際には今後、軌道に乗ってきたら法人化したいという夢も語ってくださいました。



▲ 飼料の匂い、食いつき、日々観察です

最後に

ご多忙の中で取材をお願いしましたが、快く受け入れてくださり、感謝申し上げます。美樹さんの発言の節々から聖陽さんへの愛情と牛たちやこれからの酪農業への並々ならぬ想いを感じることが出来ました。今後益々、西田義博牧場がご発展するとともに鹿児島県の酪農が隆盛する事を願っております。(A・M)

名古屋
支所発

「系統飼料(全酪連)知多牛枝肉研究会」開催

「系統飼料(全酪連)知多牛枝肉研究会」が、令和6年2月16日(金)に大阪市中央卸売市場南港市場(大阪市住之江区南港)で開催されました。

この研究会は全酪連の肥育飼料を給与した肥育牛を対象としたもので、今回出品した頭数は全部で32頭。交雑種めす6頭、交雑種去勢25頭、和牛去勢1頭であり、今回の研究会は交雑種で競われました。

交雑種全体の結果としては、平均枝肉重量において、めすが519.0kg、去勢が579.8kgでした。ロース芯面積はめすが61.0cm²で去勢が61.3cm²、BMSはめすが5.7で去勢が5.6、BCSはめすが3.8で去勢が4.1となりました。

成績優秀者には褒賞として全酪連名古屋支所長賞などが贈られました。(F.S)

なお、成績優秀者は次のとおりです。

最優秀賞 有希牧場

交雑雌 A5(ロース芯面積79cm²、BMS10、BCS3)
枝肉重量527.2kg 知恵久

優秀賞 原田芳房

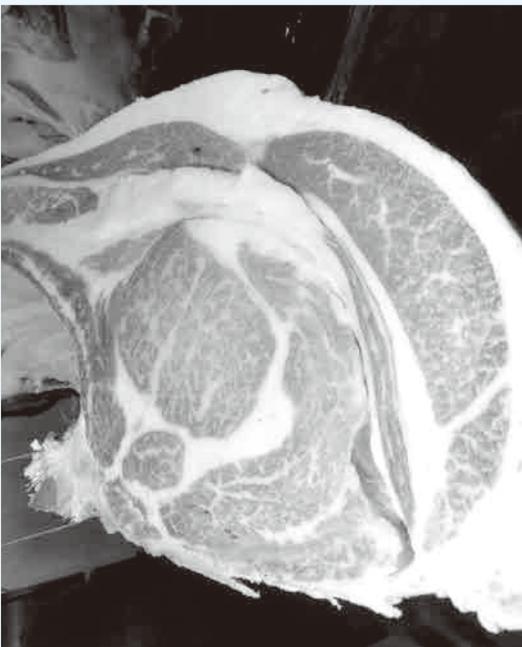
交雑去勢 A5(ロース芯面積70cm²、BMS9、BCS4)
枝肉重量560.4kg 花平国

優良賞 神原正人

交雑雌 B5(ロース芯面積63cm²、BMS8、BCS4)
枝肉重量621.4kg 貴隼桜



▲ 集合写真



▲ 最優秀賞枝肉



▲ 最優秀賞 有希牧場 代表取締役 鈴木忍氏

福岡
支所発

〈しらしんけん飲もうえ!!牛乳~今こそ、つながる酪農を~〉 九州酪農青年女性会議 「令和5年度指導者研修会」を開催!

1月24日(水)、大分県大分市のレンブラントホテル大分において、九州酪農青年女性会議（中村俊介委員長）主催の「令和5年度指導者研修会」が開催されました。

今回の指導者研修は大分県での開催です。「しらしんけん」は大分の方言で「一生懸命」という意味。メインテーマを「しらしんけん飲もうえ!!牛乳~今こそ、つながる酪農を~」と掲げ開催しました。当日は雪の

影響もあり通行止めで当初の来場予定者数を下回ったものの、九州沖縄各県から78名の酪友が集結しました。

開会式では、中村委員長の主催者挨拶の後、大分県農林水産部畜産技術室 本田室長、そして大分県酪農業協同組合 清末健一代表理事組合長よりご祝辞が披露されました。

今回の研修会は、2名の講師をお招きしました。1人目は、全酪連より、企画管理部丹戸部長が、「欧州の酪農家は経営の“厳し

さ”に対し、どのように向き合っているのか？」という講題で、日本酪農と欧州酪農の収支や働き方、違いを報告、日本酪農はどうしたら良いかを考えるヒントを分かりやすくレクチャーしました。2人目は無農薬・減農薬の米を栽培・農業を続けることでこの風景を遺すこと」を目指し営農され全量産直販売しているO2Farm 共同代表の大津愛梨氏。「私、農業やめてもいいですか?」と題して、「持続可能な農業や暮らし」や「生きる力」は子供たちや若者たちにとって「必ず身につけておきたいリベラルアーツ（一般教養）」だという想いで、自ら来たいという意思がある子（大人も）に限って受入れをしている興味深いお話がありました。

また、大津氏の愛娘である里咲ちゃん（8歳）の希望で「将来の夢」を自作のイラストを用いて披露、会場にいる大勢の大人たちを前に臆することなく堂々としたプレゼンテーションを行う場面も見られました。

講演後には意見交換会が行われ、参加者からは「オランダの農業従事者のデモについて」や「同じ女性として母として、後継者になってもらうには」等のご質問に対し、講師の方からの見解やアドバイスをいただくことができました。

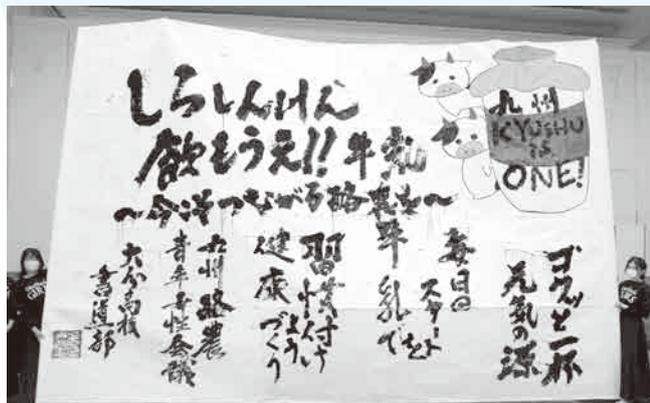
また、研修会後の交流会では、大分県酪農業協同組合 釘宮修部長による歓迎の挨拶と乾杯に始まり、地元大分県大分高校「書道部」によるアトラクションで会場は大いに盛り上がり、九州沖縄各県の酪友同志の親睦が更に深まった研修会となりました。（A.M）



▲九州酪農青年女性会議 中村委員長



▲大分県酪農業協同組合 清末健一代表理事組合長



▲交流会アトラクション ~大分高校書道部~



▲大津氏の講演

福岡
支所発4年ぶりに開催
「第46回 2024 さが農業まつり」

令和6年2月1日(木)～4日(日)の4日間、九州佐賀国際空港東特設会場（佐賀市川副町）にて、JAグループ佐賀（JA さが、JA 佐賀市中央、JA からつ、JA 伊万里）が主催する「第46回 2024 さが農業まつり」が4年ぶりに開催されました。

～盛り上げよう！美味しさいっぱい さが農業～をテーマに佐賀県農業の取組紹介や県産農畜産物の販売や関連イベントを通じて、地域住民や消費者に佐賀農業の豊かさ・楽しさを実感してもらふれあいの場となりました。

酪農に関しても、佐賀県酪農協議会（横尾文三会長）や佐賀県酪農婦人部連絡協議会（狩野富美子会長）、JA さが畜産部酪農課、牛乳普及協会などの皆さんが、期間中毎日、牛乳の無料試飲を行い、土日には搾乳・哺育酪農体験やバター作り体験、骨密度測定などを実施し酪農理解醸成に取り組みました。

加えて、消費拡大の一環として福岡支所職員を中心にバター・チーズの販売を行い、久々の農業まつりに来られた消費者から「美味しいから前も買いよった」と嬉しい言葉をもらいました。（T.S）



▲ 坂井英隆佐賀市長もチーズをお買い上げ！（^^）！



▲ 搾乳体験ブース



▲ 牛乳無料試飲に人だかり



▲ 最終日にはバター・チーズも完売御礼に

福岡
支所発九州酪農青年女性会議
「農林水産省意見交換会」に上京

令和6年2月7日(水)、九州酪農青年女性会議の初めての活動として、農林水産省畜産局牛乳乳製品課を中心に関係部署と九州酪青女役員の意見交換会を実施しました。

酪農経営改善につながるテーマとして、① 今後の酪農情勢、② 需給バランスの調整、③ 補助事業の利用、④ 所得補償制度、⑤ アニマルウェルフェアに関する報告をいただき、質疑応答・意見交換を交わしました。牛乳乳製品課の須永課長にもご参加いただき、特に改正フロン法施行後のバルククーラー更新に補助

事業を利用するアイデアを活発に議論し、酪農版マルキンの導入が難しい理由の説明を受け意見交換するなど、日頃、農林水産省と直接会話する機会の少ない役員も多く、省側も酪農家の生の声を聴くチャンスとなり有意義な意見交換会となりました。

その後、国会議事堂に場所を移し衆議院予算委員会を傍聴、議員会館内部を視察するなど今後の酪青女活動に資するために知見や人脈を広げる上京となりました。

(T.S)



▲ 須永牛乳乳製品課長の挨拶



▲ 意見交換する九酪青女役員

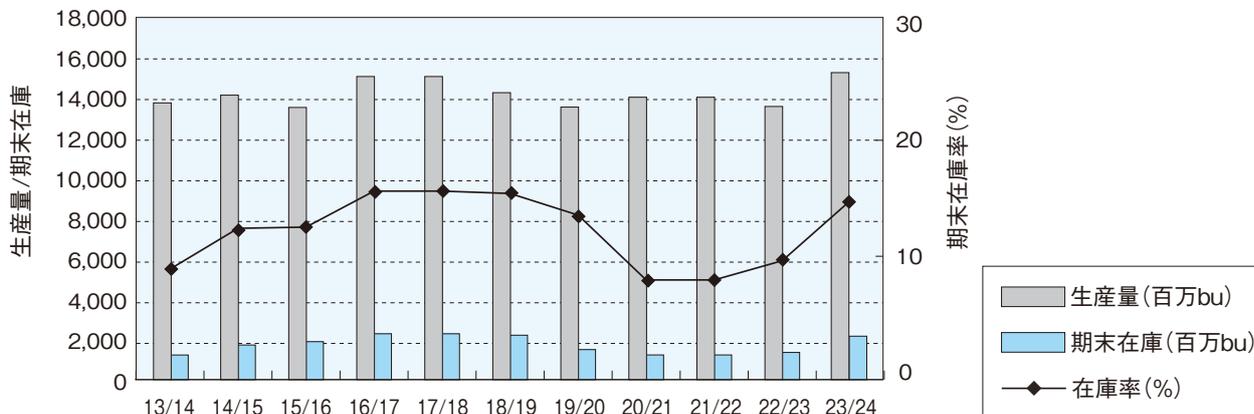


▲ 衆議院予算委員会を傍聴

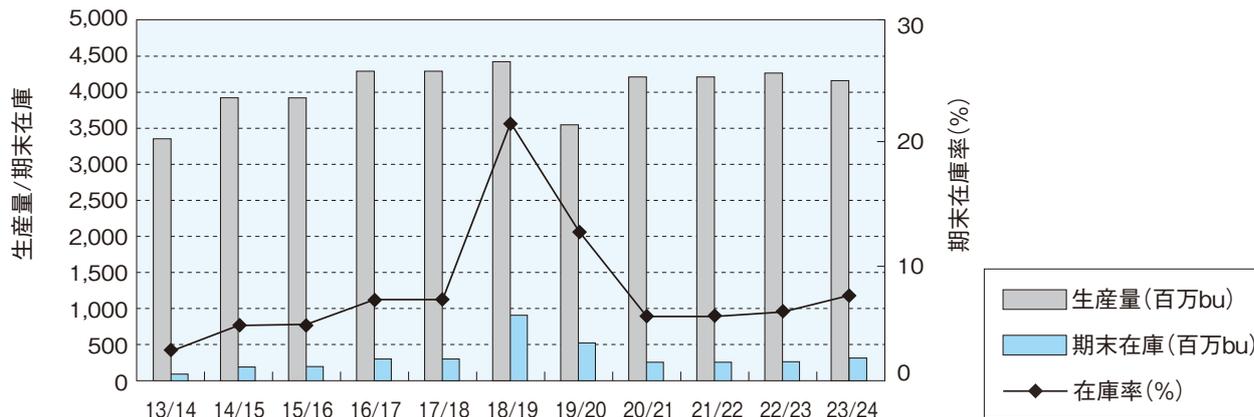


		22/23年産	23/24年産
2月8日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積(百万エーカー)	88.2	94.6
	単 収(ブッシェル/エーカー)	173.4	177.3
	生 産 量(ブッシェル)	136億5,100万	153億4,200万
	需 要 量(ブッシェル)	137億600万	145億5,500万
	期末在庫(ブッシェル)	13億6,000万	21億7,200万
	在 庫 率	9.92%	14.92%
トウモロコシ 相場動向	米国産は豊作見通しにあることや、ブラジル産は大豆の収穫が順調に進捗していることから2期作とうもろこしの作付面積が大きく減少する懸念が後退していること、アルゼンチン産が豊作期待にあること、中国の豚肉価格低迷による飼料需要の減退等から、シカゴ定期は軟調に推移している。		
大豆粕相場動向	南米の順調な豊作見通しからシカゴ相場は軟調に推移している。米国でもバイオディーゼル工場の稼働が順調なこともあり輸入大豆粕は潤沢に推移している。国内産については搾油メーカーは2月にかけて定修に入るため国産の発生が減少する見通しとなっているが輸入が潤沢なことから連られて弱含みで推移している。		
糟糖類	【一般フスマ】 外食需要が回復しているものの、主製品(パンや麺など)の売り行きは回復していないことから、小麦粉挽砕量は前年並みから少し下回ると見込まれており、1-3月期の需要は引き続き引き締まった状況になると想定される。		
	【グルテンフィード】 中国でのトウモロコシが豊作なことからスターチの稼働も順調で価格は弱含み基調となっている。国産については3月以降稼働期に入るため同じく弱含みになると見込まれている。		
海上運賃	アジア向け米国産穀物輸出港の主力であるガルフ出しは、引き続き水位低下に伴うパナマ運河の滞船は解消されていないことや、悪化する中東情勢の影響に伴うスエズ運河航路の見合わせにより、長距離航路の喜望峰経由の配船を余儀なくされている状況にある。船腹需給は緩和傾向にあり相場は下落傾向にあるものの、2月以降はブラジル産大豆輸出に向けた需要が高まることから底打ちしている。		

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移





輸入粗飼料の情勢

令和6年2月

北米コンテナ船情勢	1月に引き続き、現在も北米西海岸航路は主要の乗継航路を含めて本船スケジュールに乱れが発生しています。1月中旬には北米全体に大寒波が襲い、北部州だけではなく、内陸州でも凍結や暴風注意報が発令されました。その影響により内陸州に向かうトラック数が減少し一時的にトラック不足となり、一部のオーダーで遅延が発生しています。中でも、PNW（太平洋岸北西部）のワシントン州では大寒波による雪の影響でエレンズバーグとシアトル・タコマ港を結ぶI-90（州間高速道路90号線）で事故が発生し、区間閉鎖や一般道路の混雑も発生しておりスケジュール悪化に拍車をかけている状況です。輸業者も年末前から発生している出荷の遅れに対して改善の兆しがなく、注文に対して半分程度しか出荷出来ていないこともあり、スケジュールの安定までは時間がかかる見込みです。また、降水量不足の懸念があるパナマ運河では引き続き通行する船舶の通航隻数の制限を行っています。11月の降雨により水不足は一部解消し、通航隻数も緩和されましたが、通常隻数には戻っていない状況です。パナマ運河庁（ACP）は雨季に入る4月末には水位を確保出来ると予想していますが、今後の状況には注視が必要です。スエズ運河近くの紅海ではイエメンの親イラン武装組織フーシ派による商業船への攻撃が続いているため、各船社はスエズ運河を経由できず、喜望峯経由での運行に変更しており、世界的に輸送効率が大幅に低下しています。一部の船社は早い段階でスエズ運河経由航路の再開を検討していましたが、その後もフーシ派が米貨物船を攻撃するなど、状況は悪化しているため、スエズ運河経由航路の運行再開にはまだ時間がかかる見込みです。
ビートパルプ	【米国産】産地では23-24年産のビートパルプの生産と製糖作業が続いています。産地であるノースダコタ州やミネソタ州では例年より温暖な気候が続いており、屋外で保管されている砂糖大根の廃棄が懸念されていますが、現在のところ問題になっていません。産地での余剰在庫は例年並～例年以下であることに加え、23-24年産の生産量が予測より下回る可能性もあることから今後の動向を見極める状況が続いています。需要についてはドル高の影響もあり輸出向けは低調に推移しています。
アルファルファ	【ワシントン州】主産地であるワシントン州エレンズバーグでは降雨や降雪の影響により屋外で原料草を保管している場所まで行くことができず、米国内輸送にも影響が出ています。2月も降雨予想が続くことから輸送の遅れが続く見込みのため、今後のスケジュールには注視が必要です。また、23年産は上級品の発生が限定的になったことから中～低級品が多くなりましたが、輸業者は生産コスト上昇による経費削減のため原料草保管タープ（ビニールシート）の枚数を減らしたことで降雨や降雪の被害が発生し、輸出出来ない品質になっています。そのため、中～低級品の産地在庫も限定的となっています。 【カリフォルニア州】カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、降雨が続き例年より気温が低い日が続いています。産地では24年産の生産が進んでおり、一部の圃場で1番刈の収穫が開始されています。産地当局から発表された、1月15日付けのインペリアルバレーにおけるアルファルファの作付面積は前年同期比95%となる146,446エーカーとなっています。
チモシー	【米国産】23年産の生産は終了しました。23年産の上級品不足の影響により、現在も米国内外から強い引き合いが来ており、低級品の在庫は完売となっています。24年産の作付面積については、23年産の価格下落により生産農家は換金性が高いとうもろこしや大豆といった他作物に転作することが予想されていますが、チモシーに限らず農作物全般の相場が下がっていることから、作付面積は変わらないとの声も出ています。
スーダングラス	【カナダ産】主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区では12月は暖冬の影響で温暖な日が続き、1月は大寒波の影響で急激に気温が下がり氷点下20℃～30℃の日が続きましたが、2月現在は春先並の気候の予報となっています。暖冬の影響でカナダ国内酪農家向けの越冬用需要が軟化したことから、引き合いは例年より少なくなっています。
クレイグラス	スーダンの主な輸出先である日本向けの需要は徐々に回復してきていますが、例年と比較すると停滞しています。23年産の価格軟化や日本の需要減少により、生産農家の意欲も低下しており、24年産の作付面積は23年産よりも減少すると予想されています。先々の生産量は減少の見込みですが、日本向けの需要に対しては未だに22年産の旧穀在庫を抱えている輸業者もいるため供給力に懸念はないと思われます。
ファロープログラム（休耕地政策）について	クレインは全酪連の登録商標です。 カリフォルニア州南部インペリアルバレーの灌漑局から発表となった1月15日時点の作付面積は21,330エーカー（昨年同時期21,895エーカー）、前年同期比97%となっています。米国内需からの引き合いはないものの、日本や韓国向けの出荷は安定している状況です。
ストロー類（フェスキュー・ライグラス）	米国連邦政府は、干ばつによるミード湖の水位減少に歯止めをかけ、長期的な問題解決に取り組むため、節水を目的とするファロープログラム（休耕地政策）を検討しています。ファロープログラムは1年を通して刈取り回数が多い、クレイグラス、パミューダ、アルファルファといった多年草を対象に、夏場の刈取りを行う際に水を入れずに畑を休ませることで節水を行い、牧草生産者へ補助金を支出する政策です。クレイグラスは例年1～5番刈まで刈取りを行います。ファロープログラムを実施した場合、夏場に刈取る4番～5番刈を行わないこととなり、生産量減少が見込まれるため政策実施の有無について注視が必要です。
オーツヘイ・ウィートストロー	23年産は降雨が少なく土壌中の水分が不足した影響で生育が進まず収穫期に突入したことから生産量は大幅に減少しています。現在の日本向け需要は低調ですが、韓国向けで出荷が回復してきています。オレゴン州主要積み出し港のポートランド港では慢性的な空コンテナ不足に加え、悪天候の影響で出荷の遅れが懸念されています。
豪州ストライキについて	【豪州産】23年産オーツヘイの作況は全豪全体で降雨が少なかった影響により大半が上級品の発生で、中～低級品の発生は限定的となりました。ウィートストローの作況について、収穫作業は概ね1月末で終了していますが、南豪州と東豪州では12月以降、収穫時に降雨が続いた影響で被害が多く発生し、出荷が限定的になる見通しです。西豪州では降雨が少なかったものの、各輸業者はオーツヘイの中～低級品需要を補うためにオーツヘイとウィートストローをブレンドして出荷しておりウィートストローの需要は増加しています。
豪州ストライキについて	10月上旬よりMaritime Union(港湾労働者組合)とDP World terminal(港湾施設)間で港湾作業を停止するストライキが断続的に発生していましたが、Maritime Unionに対して賃上げの待遇改善を行うことで大枠合意となりました。両社の合意によりストライキは終了となりましたが、本船スケジュールの乱れの解消には数週間掛かる見込みです。

作品募集のお知らせ

第50回

らくのう こどもギャラリー

① 募集規定

- (1)酪農を中心とした題材の図画（大きさは自由）
- (2)自作で未発表のものに限りです。
- (3)作品には、**題名・住所・氏名・振り仮名・年齢・学校名・学年・保護者名を必ず記載してください。また、酪農家の子弟については保護者の所属組合名を記載してください。**
- (4)作品返却を希望される方は応募時に返却希望の旨を申し出てください。

② 応募資格

4歳から中学生までの酪農家の子弟、および酪農に関心のある一般のお子さん。

③ 締切日

令和6年5月31日(金) (必着)
または、各地域会議締切日に準ずる。

④ 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。

⑤ 審査結果の発表

「第51回全国酪農青年女性酪農発表大会」の発表要旨、および全酪連会報7月号に審査結果を掲載いたします。

⑥ 褒賞

- ・特選 1点
- ・入選 4点
- ・秀作 若干
- ・ファミリー賞 若干
(牛とのふれあいなど、ほのぼのとした雰囲気を持つ作品に贈られます)
- ・あすなる賞 若干
(小学校入学以前の方の優秀作品に贈られます)



第49回 特選
「ごはんを食べるホルスタインと乳しぼりするポク」
穴見 祥太郎さん

◎入賞者には記念品を贈呈いたします。

◎図画の優秀作品は、作者の顔写真・審査講評と共に「全酪連会報」の最終ページに掲載します。

◎入賞された作品は、令和7年開催の第16回全日本ホルスタイン共進会(主催:一般社団法人日本ホルスタイン登録協会)の告知のための制作物等に使用されることがありますのでご了承ください。

第14回

酪農いきいき フォトコンテスト

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。

つきましては、下記のとおり作品を募集しますので、ふるってご応募いただけますようお願いいたします。

① テーマ

- (1)「乳牛のいる風景」
- (2)「酪農作業風景」

※いずれも、酪農家がいきいきと牛乳生産に励む様子や、安心安全な牛乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

② 募集規定

- (1)写真は可能な限りデータで提出してください。
- (2)自作で未発表のものに限りです。
- (3)作品には、**題名・氏名・振り仮名・住所・所属組合名を必ず記載してください。**
- (4)応募点数：お1人様1作品のみ



第13回 特選
「モーモーちゃん、いつも美味しいお乳を出してくれて、ありがとう♥」
松島太一氏 撮影

③ 応募資格

酪農家

④ 締切日

令和6年6月30日(日) (必着)
または、各地域会議締切日に準ずる。

⑤ 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。または、全国酪農青年女性会議公式LINEでも応募可能予定です。詳細は決まり次第、全国酪農青年女性会議公式LINEで告知します。

酪農青年女性会議 公式LINE

@642bpcwk

⑥ 審査方法

応募作品を「第51回全国酪農青年女性酪農発表大会」の会場内に掲載し、大会参加者の投票による審査を行います。
※応募多数の場合は事務局による予備審査を行います。

⑦ 審査結果の発表

- (1)「第51回全国酪農青年女性酪農発表大会」にて発表します。
- (2)「全酪連会報」の表紙に使用します。(号数未定)

⑧ 褒賞

- ・特選 1点
- ・入選 若干

◎入賞者には賞品を贈呈いたします。

◎提出していただいた作品の返却はいたしません。

◎応募していただいた作品は、全酪連会報およびカレンダーへの掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動(「父の日に牛乳を贈ろう!」キャンペーン含む)等で使用することがありますのでご了承ください。

提出先一覧

●北海道酪農青年女性会議

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1
酪農センター5階 全酪連札幌支所内
TEL 011-241-0765

●東北酪農青年女性会議

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20
東邦ビル3階 全酪連仙台支所内
TEL 022-221-5381

●関東甲信越酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-37-2
酪農会館 全酪連東京支所内
TEL 03-5931-8011

●中部酪農青年女性会議

〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6
名古屋三蔵ビル3階 全酪連名古屋支所内
TEL 052-209-5611

●西日本酪農青年女性会議

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10
新大阪トヨタビル6階 全酪連大阪支所内
TEL 06-6305-4196

●九州酪農青年女性会議

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15
事務機ビル7階 全酪連福岡支所内
TEL 092-431-8111

令和6年

7/18(木) ▶ 19(金)

日程

7月18日(木)

13:00~13:50 開会式
 13:55~16:15 酪農経営発表
 16:15~16:25 らくのうこどもギャラリー表彰式
 16:40~18:15 酪農意見・体験発表
 19:20~21:30 懇親会

7月19日(金)

9:00~ 開会
 10:20~11:40 審査講評・表彰式
 11:40~11:45 新旧役員紹介
 11:45~11:50 閉会式

大会参加費

1名 **5,000円** (大会のみ) 1名 **15,000円** (大会・懇親会)
 ※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

● 会場・宿泊

「名古屋 東急ホテル」
 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-6-8
 Tel 052-251-2411



● アクセス



● 鉄道の場合
 地下鉄東山線「栄駅」下車
 12番出口から徒歩5分。
 ● 車の場合
 高速都心環状線 東新町
 出口から「東新町」交差点
 を右へすく。
 ● 飛行機でお越しの場合
 セントレア(中部国際空港)
 からは乗合タクシーが便利
 です。所要時間約50分。

酪農発表大会

全国酪農青年女性

主催 全国酪農青年女性会議 / 全国酪農業協同組合連合会



大会事務局

全国酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目 37 番 2 号 酪農会館
 全酪連 総務部 組織対策課 内 / TEL. 03-5931-8003

原稿募集

「酪農トピックス」では皆様からの記事を募集しております

共進会、B&W、酪農祭り、親睦スポーツ大会といった催事情報から組合住所の変更や移転等案内情報、そして直営店情報や組合の自慢情報まで、酪農トピックスでは会員の皆様からの原稿を募集しております。本コーナーは会員の皆様の情報交換の場です。ぜひご活用ください。

送付先 皆様のお近くにありますが本会支所までご送付・ご連絡ください。

■札幌支所

〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1 酪農センター5階
tel. 011-241-0765

■名古屋支所

〒460-0008
名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3階
tel. 052-209-5611

■仙台支所

〒980-0021
仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3階
tel. 022-221-5381

■大阪支所

〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル6階
tel. 06-6305-4196

■東京支所

〒151-0053
東京都渋谷区代々木1-37-2 酪農会館4階
tel. 03-5931-8011

■福岡支所

〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-2-15 事務機ビル7階
tel. 092-431-8111

酪農青年女性会議 LINE公式アカウント



友達募集中

友達追加方法

1



ホーム画面へ

2



友だち追加ボタンを
タップ

3



「QRコード」から
読み取る

4



友だち追加で
完了



@642bpcwk

最新情報をお届けします。



QRコードで追加
もしくは
ID : @642bpcwk
で検索!

価格状況 ▲……強含み ▲……やや強含み →……横這い ▼……やや弱含み ▼……弱含み

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	30~40	→	札幌管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で95.1%、累計で94.0%、苫小牧管内月計で97.1%、累計で92.8%の実績となっております。3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となります。年明けから、道内の平均相場は大きく跳ね上がったものの、管内の乳牛市場相場は横這いで推移していることから、当管内の庭先購買においては、横這いで推移するものと予想されます。雌雄選別腹の資源状況としては、依然として少ないですが、高能力牛が多い地域でもあり、定期的に庭先購買を行っておりますので良質な搾乳用素牛をご案内できると思われます。
	初妊牛	60~70	→	
	経産牛	45~55	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	35~45	↑	根釧管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.9%、累計で96.5%、中標津管内月計で103.0%、累計で97.4%の実績となっております。3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となります。2月の管内乳牛市場では需要の高まる、春分娩腹の上場が中心となり、メガ・ギガファームの導入意欲も高いことから、道内外の導入も重なり高値の相場となりました。3月の庭先購買は2月と同様に強含みになると予想されます。資源状況につきましては、先月と同様に雌雄選別腹が少ない状況が続いております。育成牛は、来年の春分娩対象にすることが可能な牛が中心となることから需要が多く、やや強含みで推移すると見込まれます。
	初妊牛	65~75	↑	
	経産牛	50~55	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	37~47	▲	帯広管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で100.9%、累計で95.6%の実績となっております。3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となります。管内酪農家の導入需要が高まっていることや、メガ・ギガファームの導入が増加していることから、先月同様、更に引き合いが強く相場が押し上げられることが見込まれます。腹別ではF1腹の人気が高く、和牛受精卵移植腹と大差がなくなっています。また、雌雄選別腹は引き続き資源不足となっています。経産牛についても即戦力となる牛の需要が高く、生産意欲が高まっていることが感じ取れます。育成牛については、特に春生まれの牛においては、引き合い強く、相場は堅調に推移しております。
	初妊牛	65~75	↑	
	経産牛	50~55	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	35~45	↑	道北管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で97.8%、累計で95.4%、北見管内月計で102.2%、累計で96.0%の実績となっております。3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となります。春分娩腹中心となるため需要が集中し、相場は堅調に推移すると見込まれます。腹別では雌雄選別腹とF1腹での価格差はそれほどありませんが、雌雄選別腹については、自家保有する酪農家が多い傾向から、出回り資源が少なくなっている状況です。育成牛・経産牛に関しましては、出回り頭数が減少していることから、高値で取引されるものと見込まれます。
	初妊牛	60~70	→	
	経産牛	48~58	▲	
道内総括	育成牛(10-12月令)	35~45	↑	道内の2月中旬までの生乳生産量前年比は100.7%、累計で96.1%の実績となっております。例年より暖かい冬となっており、春が早く来る予感がしている北海道となっています。3月の初妊牛動向といたしまして、5月~6月中旬の分娩中心となります。道内外の需要が高まり相場は先月から更に上げ基調を見込んでおります。昨年の猛暑の影響を受けているため、特に5月分娩腹の資源が不足しており全国的に購買意欲が増していることに加え、道内での生産意欲も増していることから自家保留も増え、販売向けの頭数自体も減少傾向にあります。夏分娩腹が動き出す時期まではこの相場は継続することが見込まれるため、今後、相場状況・資源状況を注視しながら情報を発信させていただきます。導入計画がございましたらお早めのご注文宜しくお願い致します。
	初妊牛	65~75	↑	
	経産牛	50~55	→	

今月の表紙

今月の表紙は「第13回酪農いきいきフォトコンテスト」に応募いただいた作品「お風呂上がりの一杯は最高でちゅ」(熊本県 松島啓美氏 撮影)です。



編集後記

- 3月中旬からは各地域で酪農発表大会が開催されます。第51回全国酪農青年女性酪農発表大会にむけ、2年ぶりの開催です。皆様お誘いあわせの上、是非、ご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。寒暖差が激しい日々が続いております。花粉の季節も到来です。どうか、体調を崩されませぬよう、お気を付けください。
- 会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

令和6年3月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 3月号 No.702

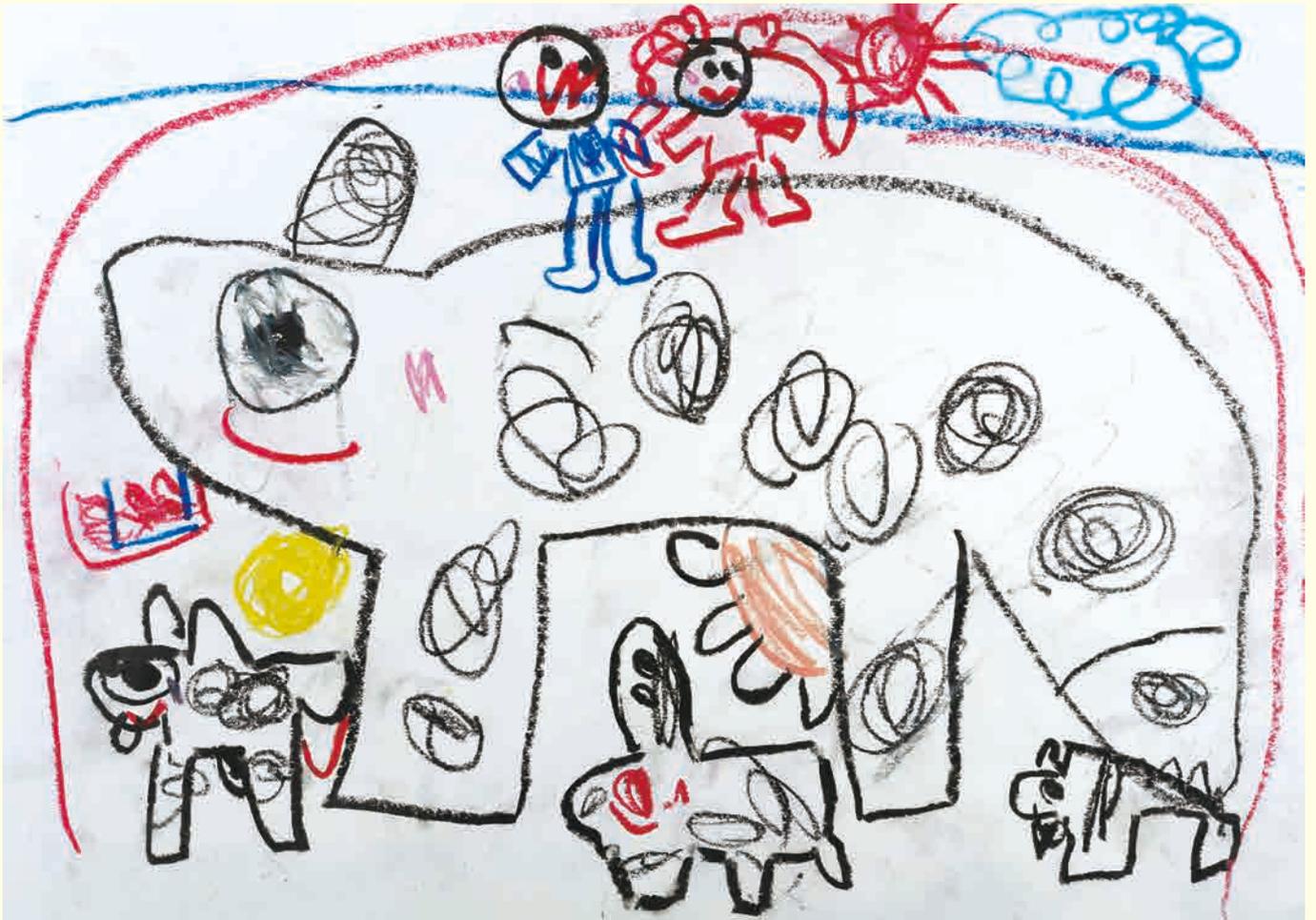
- 編集・発行人 岡田征雄
- 発行 全国酪農業協同組合連合会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
TEL 03-5931-8003 <https://www.zenrakuren.or.jp/>

今月の

らくのう

こどもギャラリー

入賞作品紹介



りんごを食べながら、ぼくとななをのせる牛

城山保育園 5歳（九州） 大嶋万葉

今月の入賞作品は…

城山保育園 5歳（九州）の大嶋万葉さんの作品です。

牛さんと「ぼくとなな」の楽しい触れ合いが描かれた元気のいい作品です。りんごを食べる牛さんの大きな丸い目や、クレヨンの渦巻きのような筆跡が画面に動きを与えています。人と牛さんたちの配置も絶妙だと思います。



※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第49回らくのうこどもギャラリー」で全国138点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議